

Phillip MT5

by フィリップ証券

～応用編～

目次

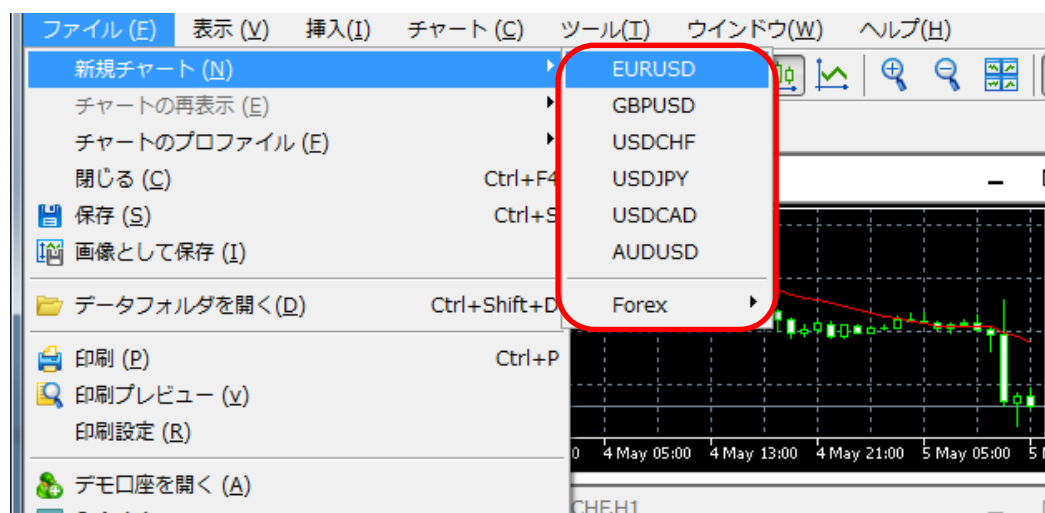
1.チャートの使い方	
1-1.新規チャートを開く	1
1-2.チャートの設定	
1-2-1.チャート種類の変更	3
1-2-2.時間足の変更	4
1-2-3.チャートの拡大・縮小	6
1-2-4.オートスクロール・チャートシフト	8
1-3.複数チャートの整列	9
1-4.ラインや図形を表示	11
1-4-1.ラインや図形の削除	11
1-4-2.ラインや図形の移動	12
1-4-3.色や線種、太さ等の変更	12
1-5.インディケータの表示	13
1-5-1.インディケータの編集や削除	14
1-5-2.外部インディケータのインストール	15
1-6.チャートの保存	
1-6-1.定型チャートの保存・読み込み	16
1-6-2.チャートのプロファイル保存・読み込み	17
2.EA(エキスパートアドバイザー){自動売買}	
2-1.EA の実行	19
2-2.外部 EA のインストール	20
2-3.バックテスト機能	21
3.その他の機能	
3-1.アラートの設定	22
3-2.プライスボードの表示	25
3-3.既定値設定	26
3-4.ワンクリック注文	27
3-5.期間と値幅の計測	28
3-6.ポップアッププライス	28
3-7.高速ナビゲーションバー	29
3-8.ツールバーのカスタマイズ	30
3-9.ショートカットキー一覧	30

1.チャートの使い方

1-1.新規チャートを開く

チャートの開き方は以下の3通りの方法があります。

① メニューバーから



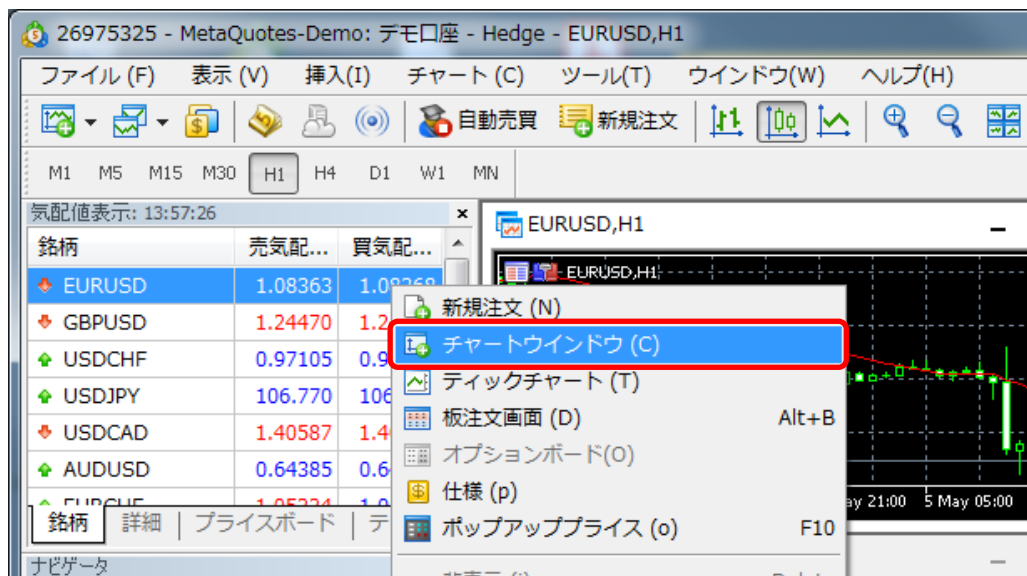
メニューバーの「ファイル」→「新規チャート」→「表示したい通貨ペア」をクリックします。

② ツールバーから



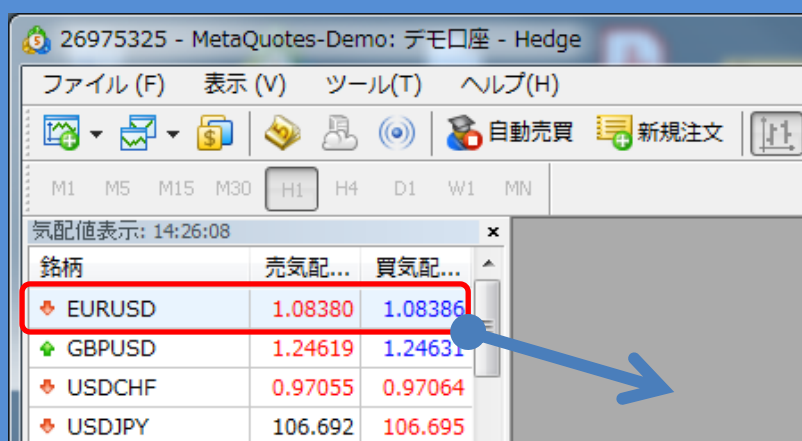
ツールバーの「新規チャートを開く」ボタン→「表示したい通貨ペア」をクリックします。

③ 気配値表示から



気配値表示から表示したい通貨ペアを右クリックし、「チャートウィンドウ」をクリックします。

ヒント



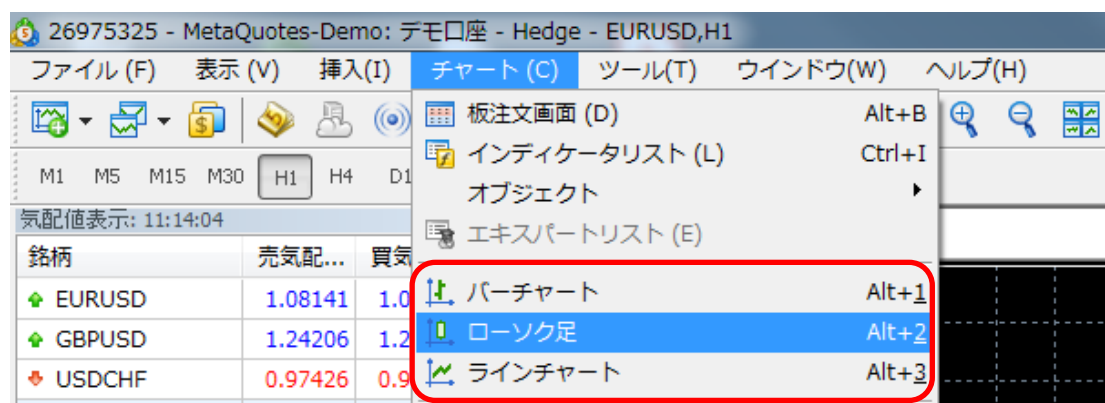
気配値表示からドラッグ&ドロップすることでチャートを開くこともできます。また、既存のチャートにドラッグ&ドロップすると設定はそのまま通貨ペアのみ切り替えることができます。

1-2.チャートの設定

1-2-1.チャート種類の変更

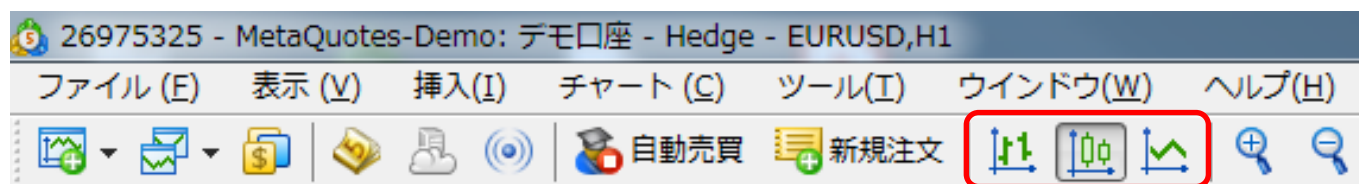
MT5 のチャートには、バーチャート・ローソク足・ラインチャートの 3 種類の表示形式があります。

① メニューバーから



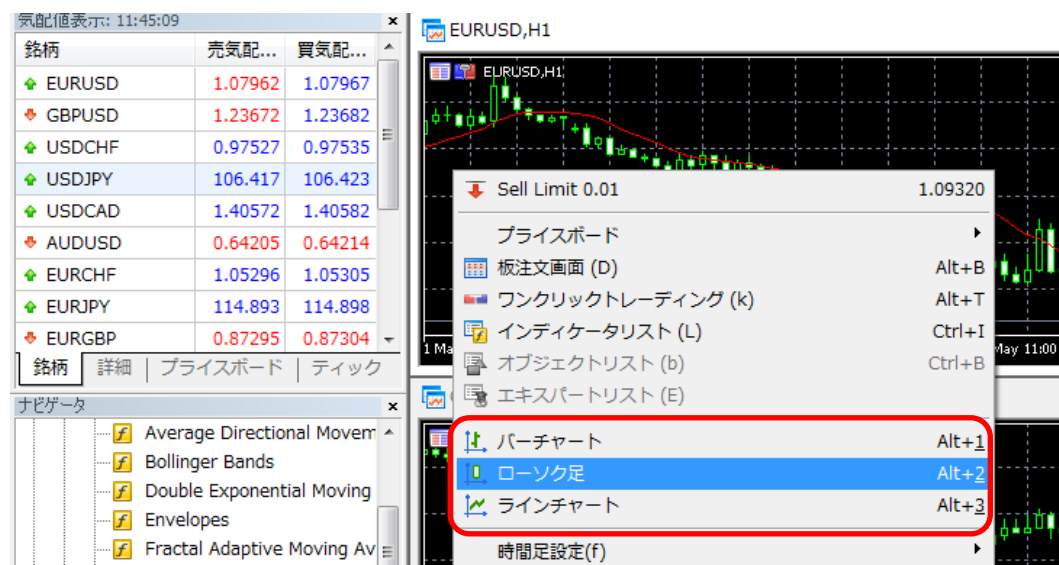
メニューバーの「ファイル」→「表示したいチャート種類」をクリックします。

② ツールバーから



ツールバーの「チャートの種類」ボタンをクリックします。

③ 右クリックメニューから

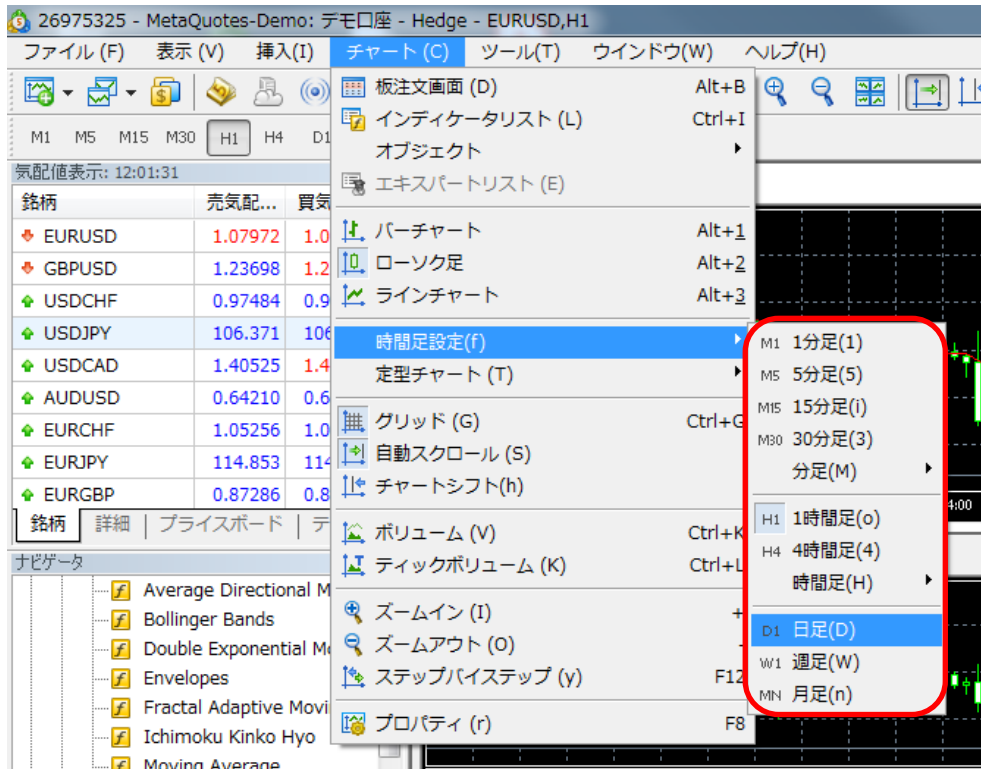


チャートウィンドウ内で右クリックし、「表示したいチャート種類」をクリックします。

1-2-2.時間足の変更

MT5 では 1 分～30 分足、1 時間～12 時間足、日足、週足、月足等、21 種類の時間足がご利用できます。

① メニューバーから



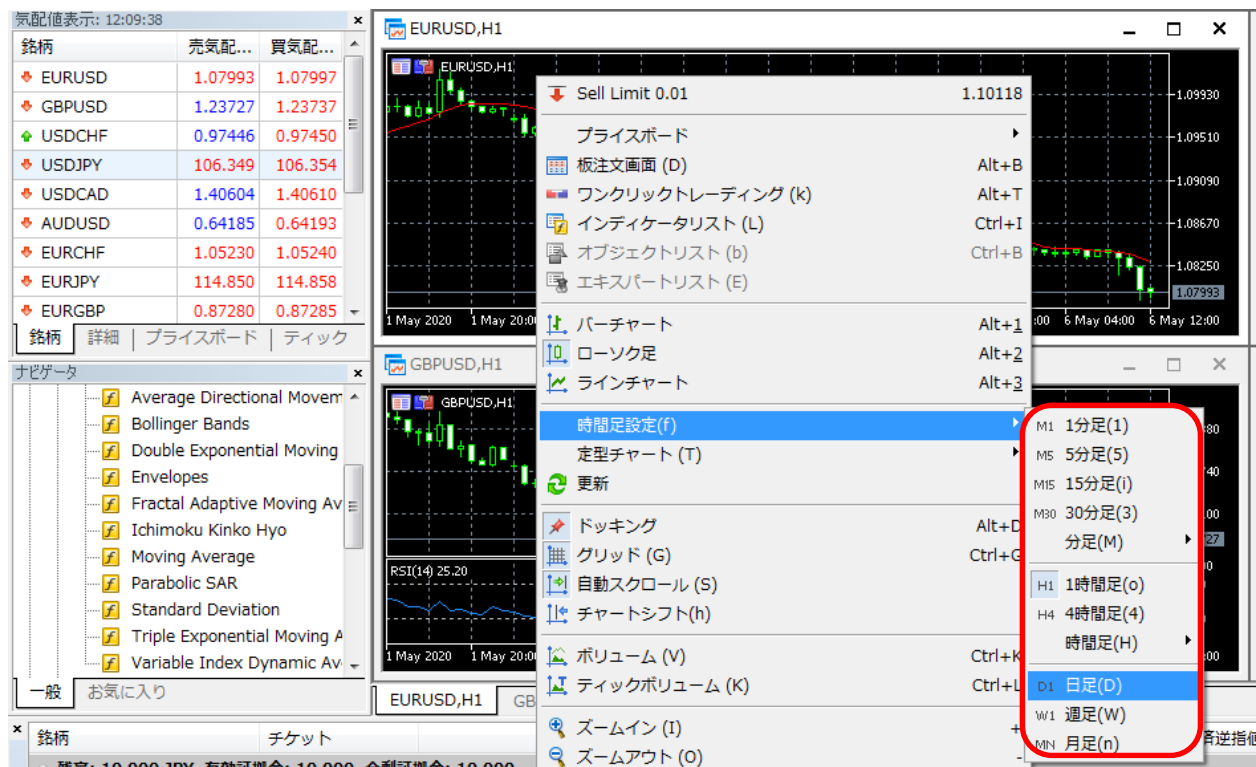
メニューバーの「チャート」→「時間足設定」→「表示したい時間足」をクリックします。

② ツールバーから



ツールバーの「時間足設定」ボタンをクリックします。

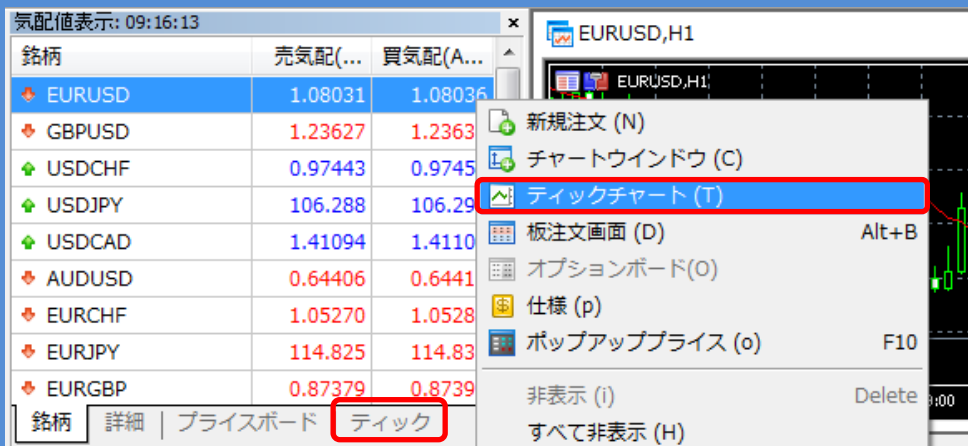
③ 右クリックメニューから



チャートウィンドウ内で右クリックし、「表示したい時間足」をクリックします。

ヒント

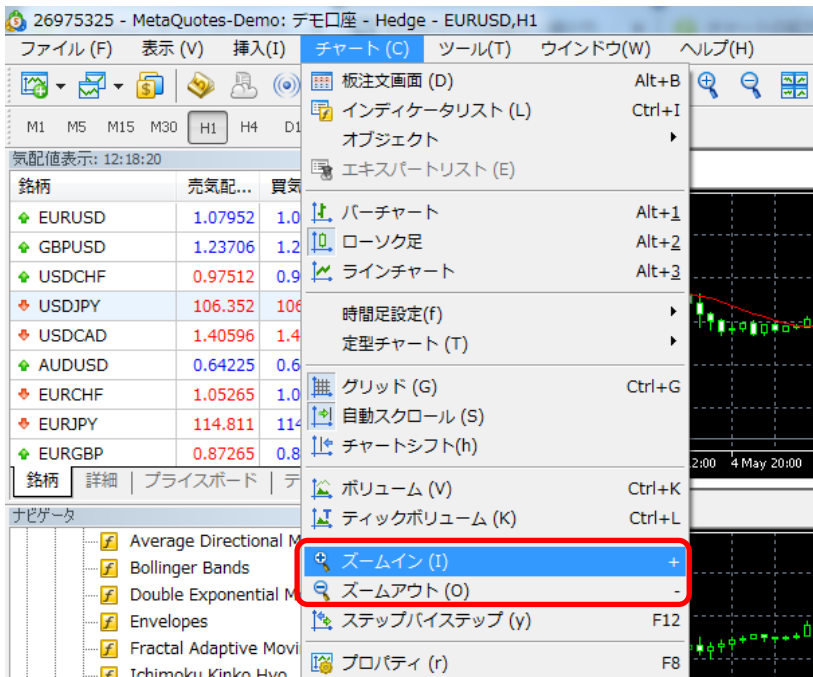
ティックチャート(秒足)の表示方法



気配値表示から表示したい通貨ペアを選択し、「ティック」タブをクリックします。
または、表示したい通貨ペアを右クリックし、「ティックチャート」をクリックします。

1-2-3.チャートの拡大・縮小

① メニューバーから



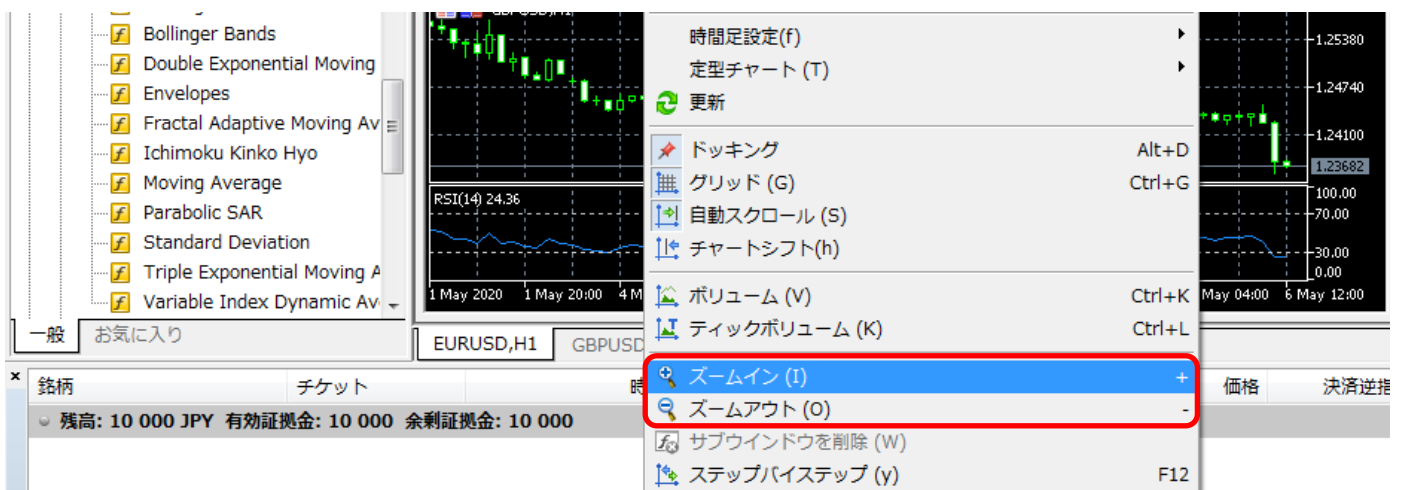
メニューバーの「チャート」→「ズームイン」または「ズームアウト」をクリックします。

② ツールバーから



ツールバーの「ズームイン」または「ズームアウト」ボタンをクリックします。

③ 右クリックメニューから



チャートウインドウ内で右クリックし、「ズームイン」または「ズームアウト」をクリックします。

また、ウインドウ自体のサイズ変更も可能です。



- ① ウインドウ右上の「最大化」ボタンをクリックします。
元のサイズに戻す場合は、ウインドウ右上の「元に戻す(縮小)」ボタンをクリックします。
- ② チャート下部のタブを右クリックし、「最大化」をクリックします。
元のサイズに戻す場合は、「復元」をクリックします。

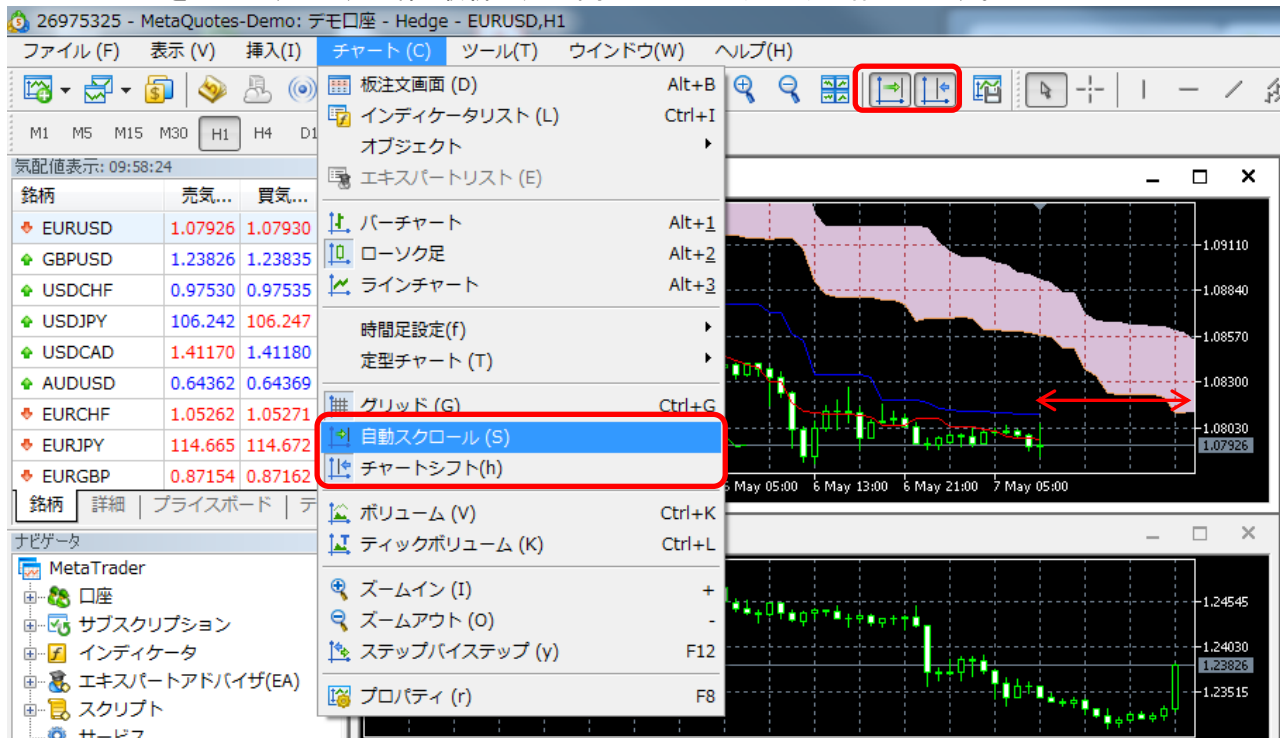
ヒント



チャートを最大化中は、下部のタブで切り替えができます。
また、タブをダブルクリックすることで、最大化/縮小することもできます。

1-2-4.オートスクロール・チャートシフト

オートスクロールを ON にすると、最新の足が右端にるように自動的に移動します。
チャートシフトを ON にすると、右端と最新の足の間にスペース(空白)が作られます。



① メニューバーから

メニューバーの「チャート」→「自動スクロール」・「チャートシフト」をクリックします。

② ツールバーから

ツールバーの「チャートを自動スクロールする」・「チャートをシフトする」ボタンをクリックします。



③ 右クリックメニューから

チャートウインドウ内で右クリックし、「自動スクロール」・「チャートシフト」をクリックします。

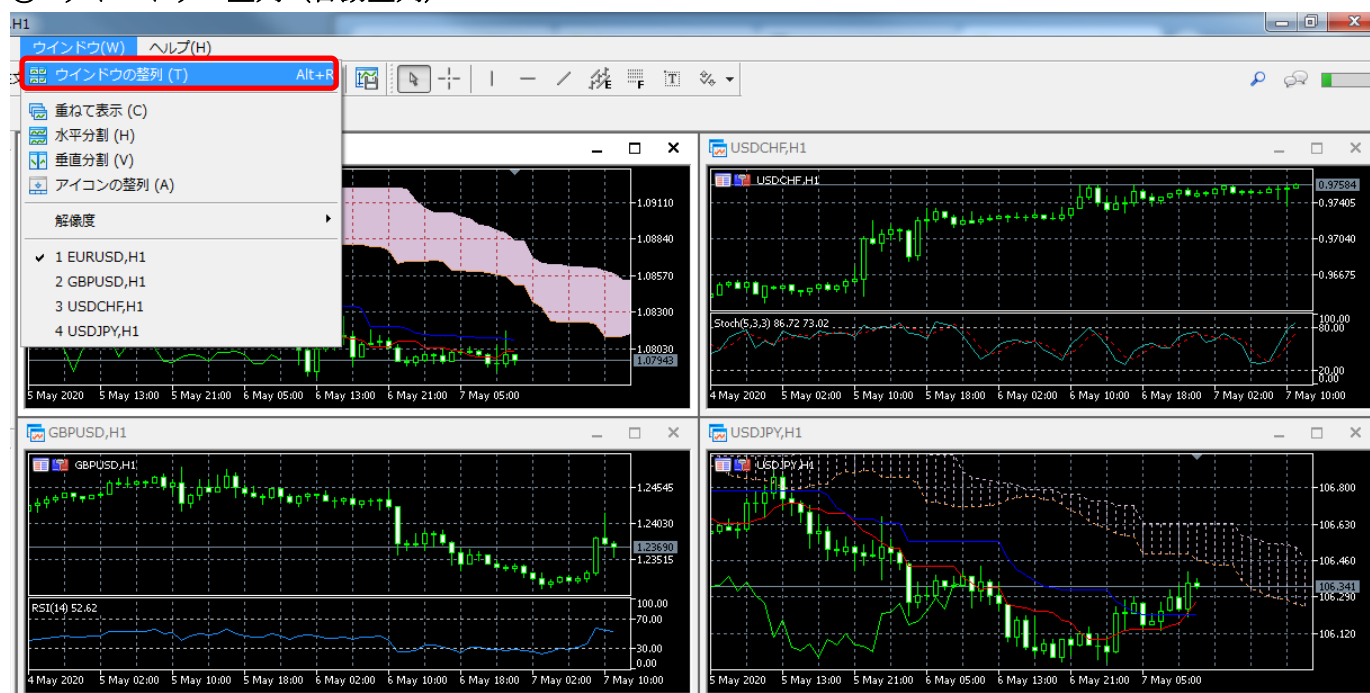
ヒント

過去のチャートを見るときはオートスクロールを OFF にしておきましょう。

1-3.複数チャートの整列

複数のチャートを4種類の方法で整列することができます。

① ウィンドウの整列 (自動整列)



メニューバーの「ウィンドウ」→「ウィンドウの整列」をクリックします。



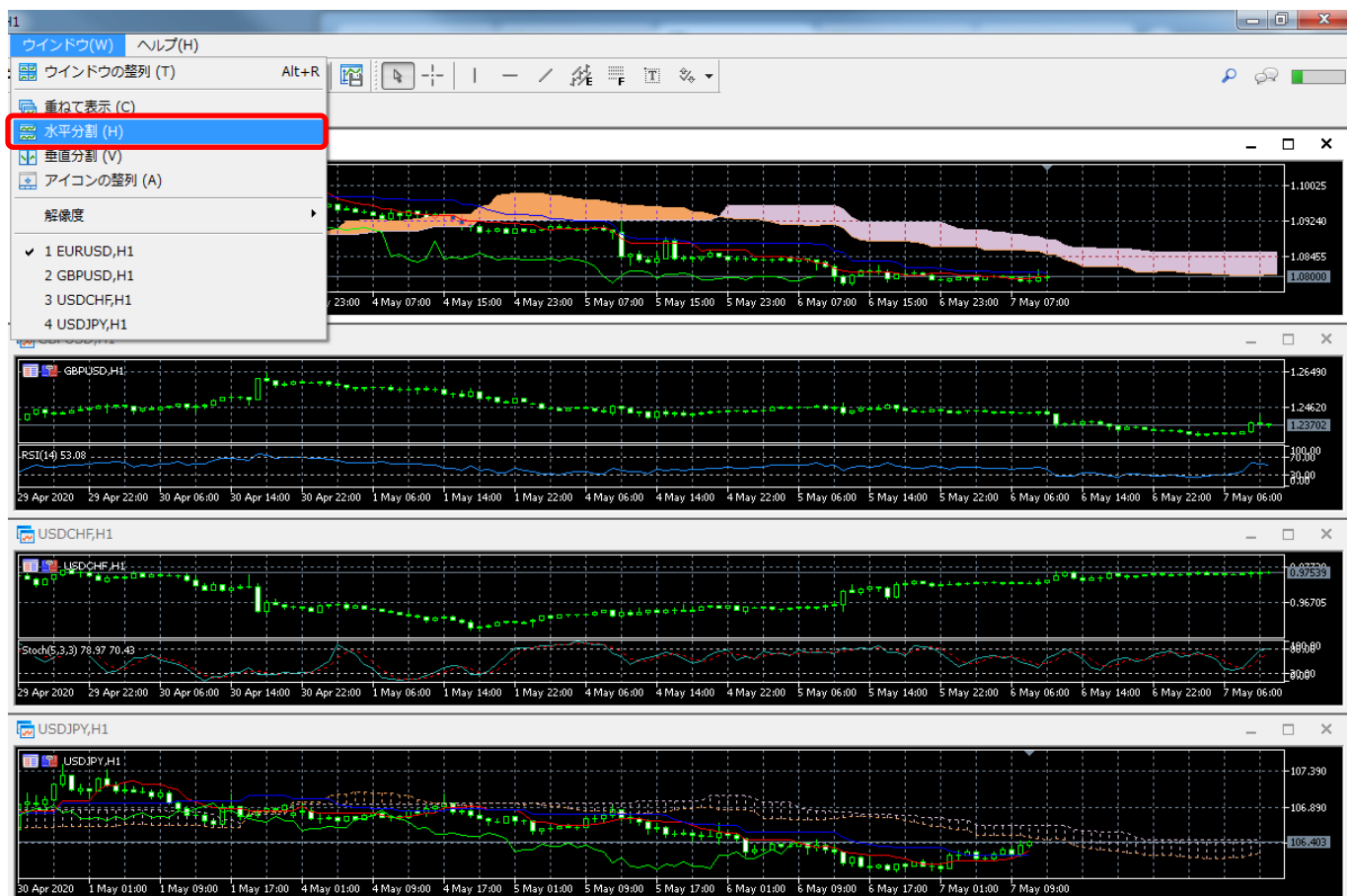
または、ツールバーの「ウィンドウの整列」ボタンをクリックします。

② 重ねて表示



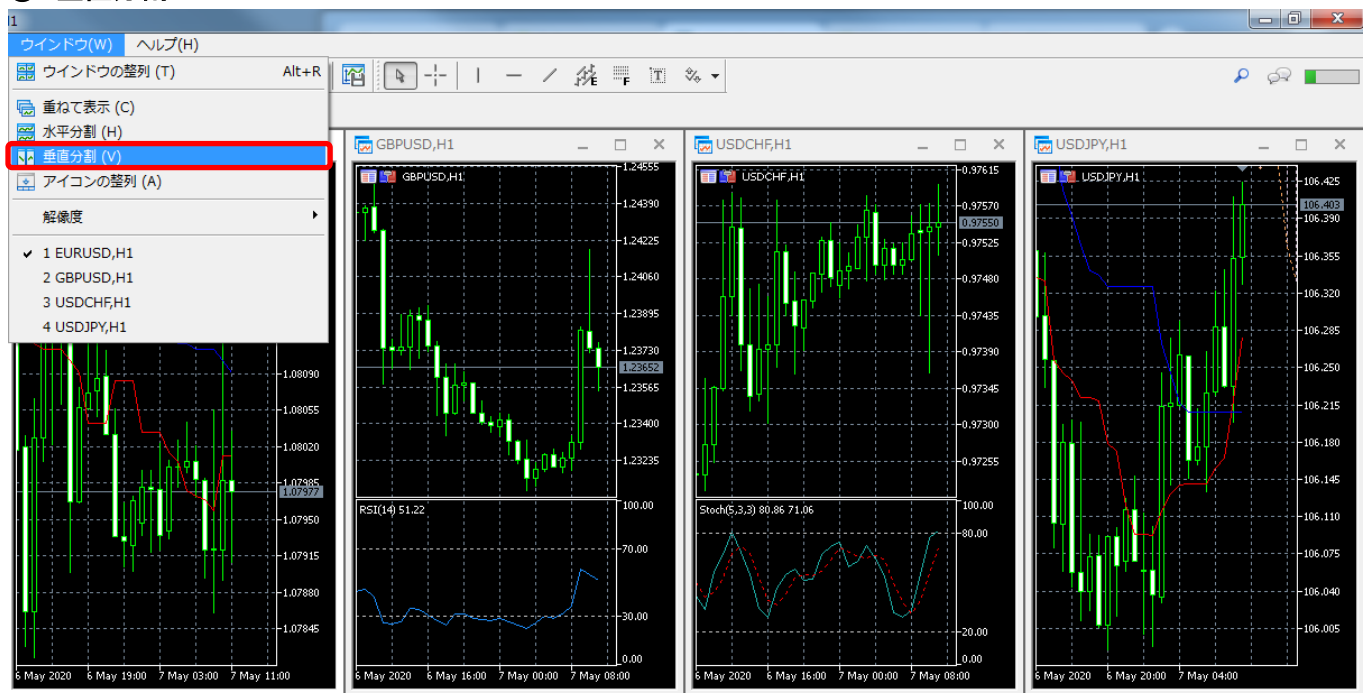
メニューバーの「ウィンドウ」→「重ねて表示」をクリックします。

③ 水平分割



メニューバーの「ウインドウ」→「水平分割」をクリックします。

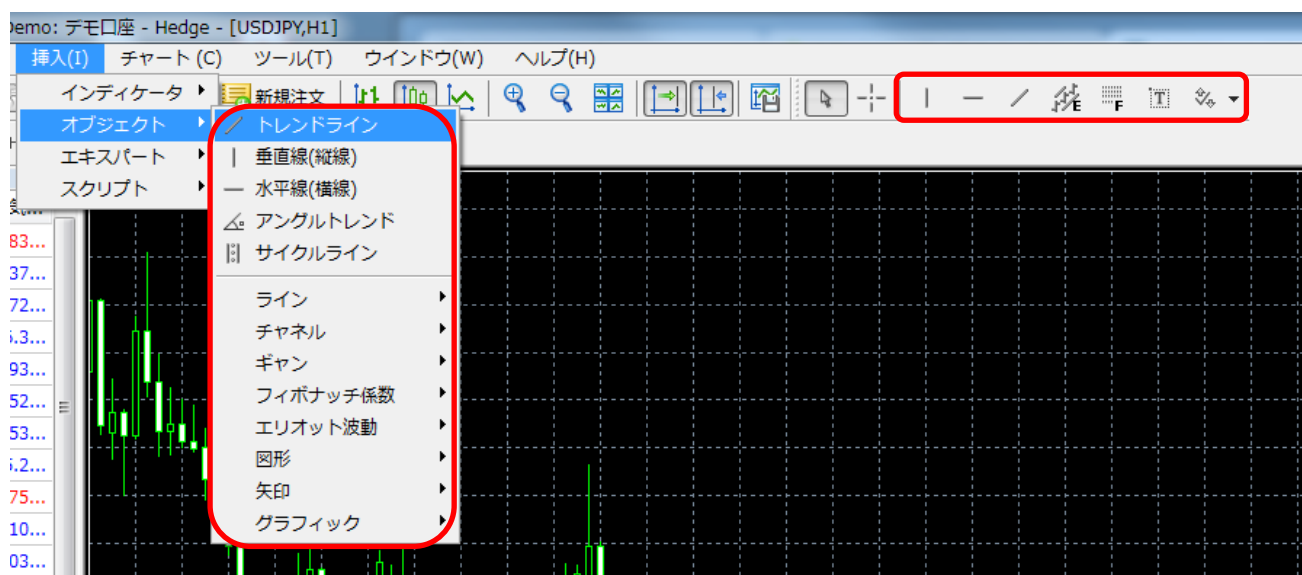
④ 垂直分割



メニューバーの「ウインドウ」→「垂直分割」をクリックします。

1-4. ラインや図形を表示

トレンドラインやフィボナッチ、様々な図形をチャート上に表示できます。



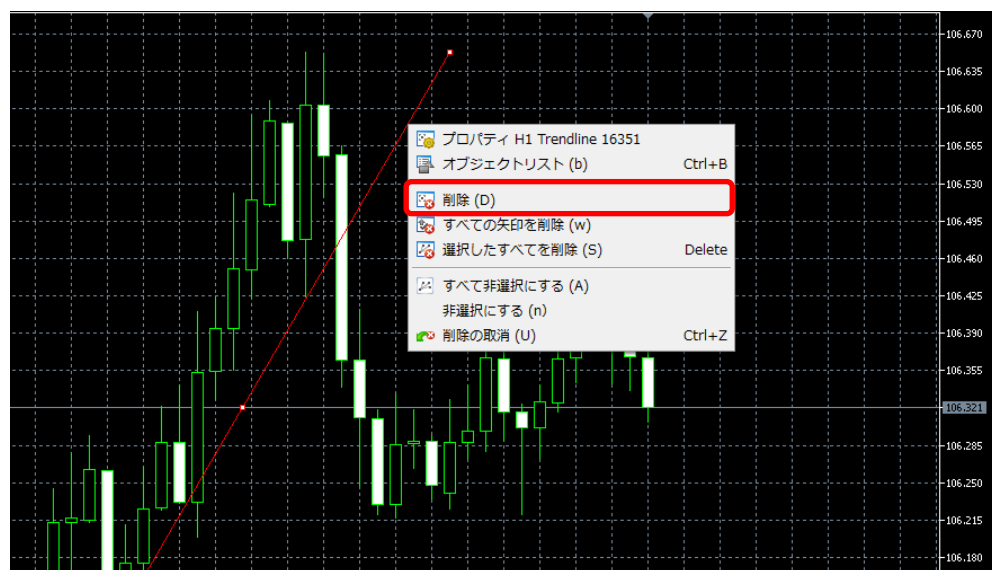
① メニューバーから

メニューバーの「挿入」→「オブジェクト」→「表示したいラインや図形」をクリックします。

② ツールバーから

ツールバーの「表示したいラインや図形」ボタンをクリックします。

1-4-1. ラインや図形の削除



① ラインや図形をダブルクリックし選択された状態にします。(□マークが表示されます。)

※複数選択も可能です。

② ラインや図形を右クリックし、「削除」をクリックします。

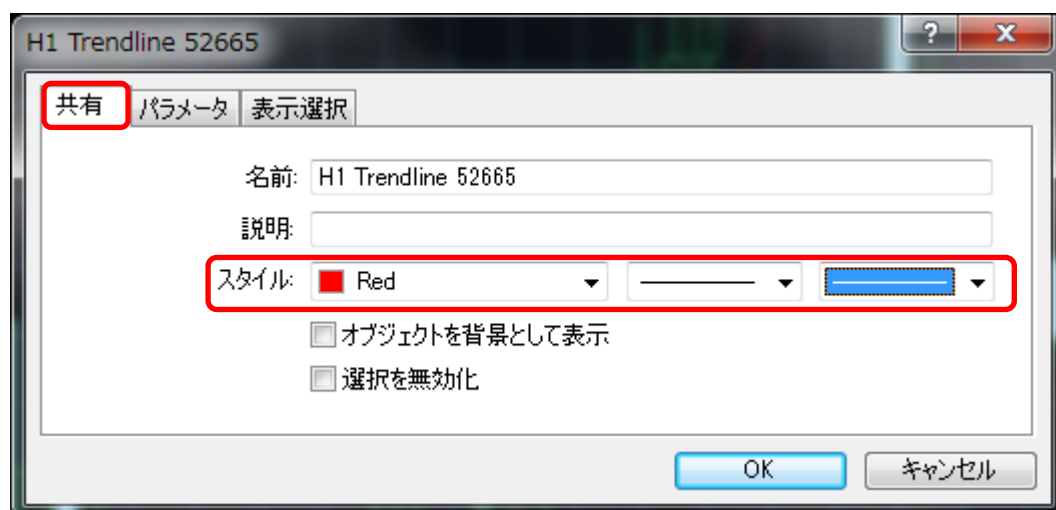
※キーボードの「Delete」キーでも削除できます。

1-4-2. ラインや図形の移動

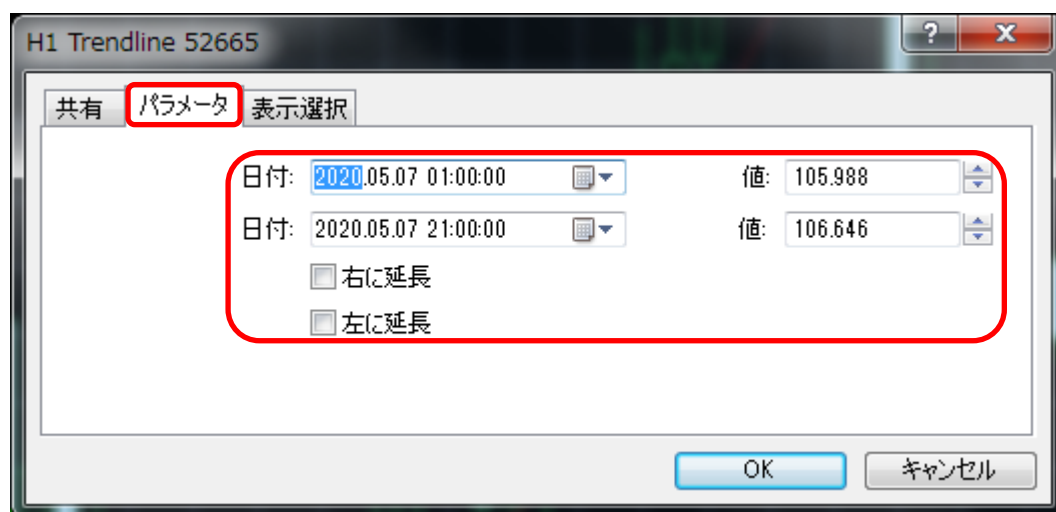
- ① ラインや図形をダブルクリックし選択された状態にします。
- ② 支点(真ん中の口)をドラッグしてラインや図形を移動します。
※角度を変更する場合は、始点/終点(両端の口)をドラッグします。

1-4-3. 色や線種、太さ等の変更

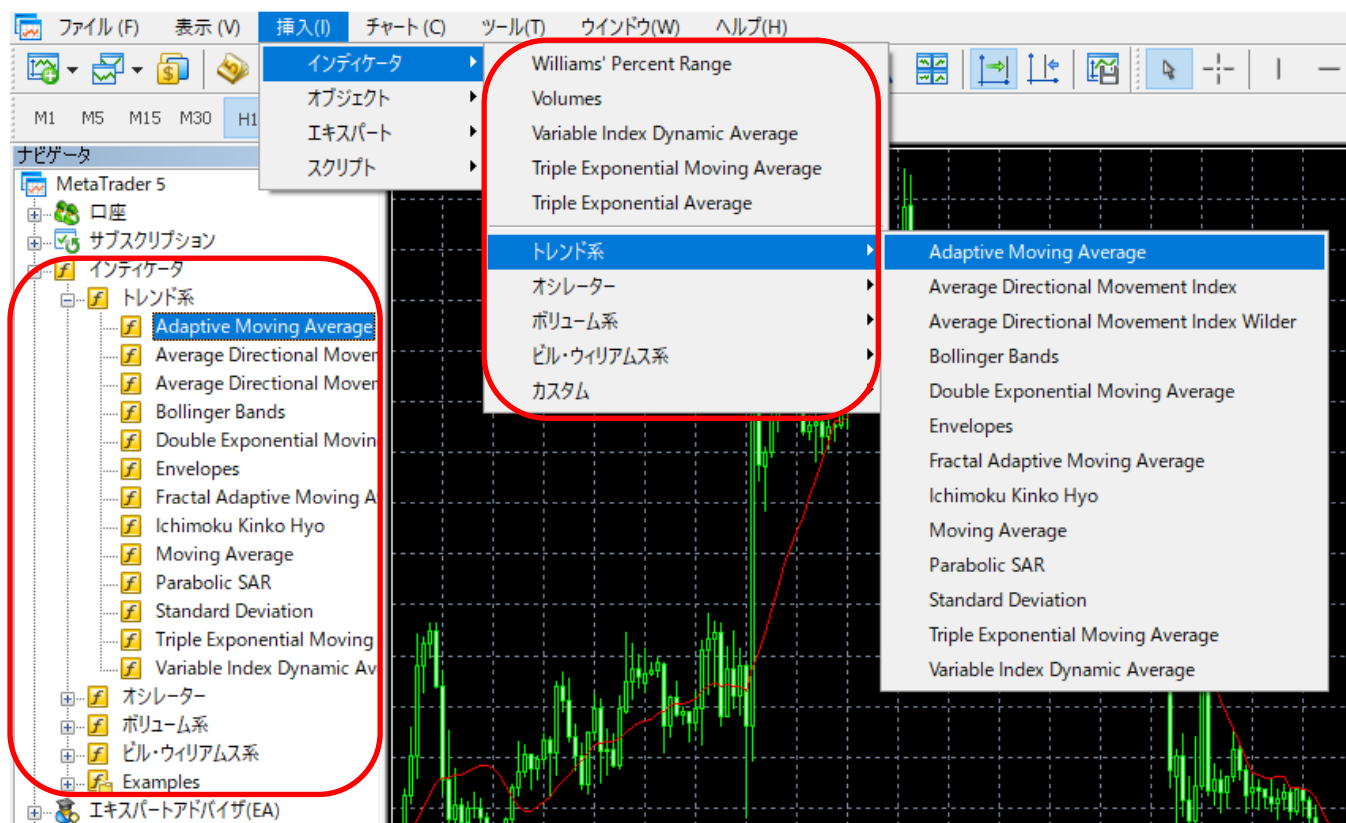
- ① ラインや図形をダブルクリックし選択された状態にします。
- ② ラインや図形を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。



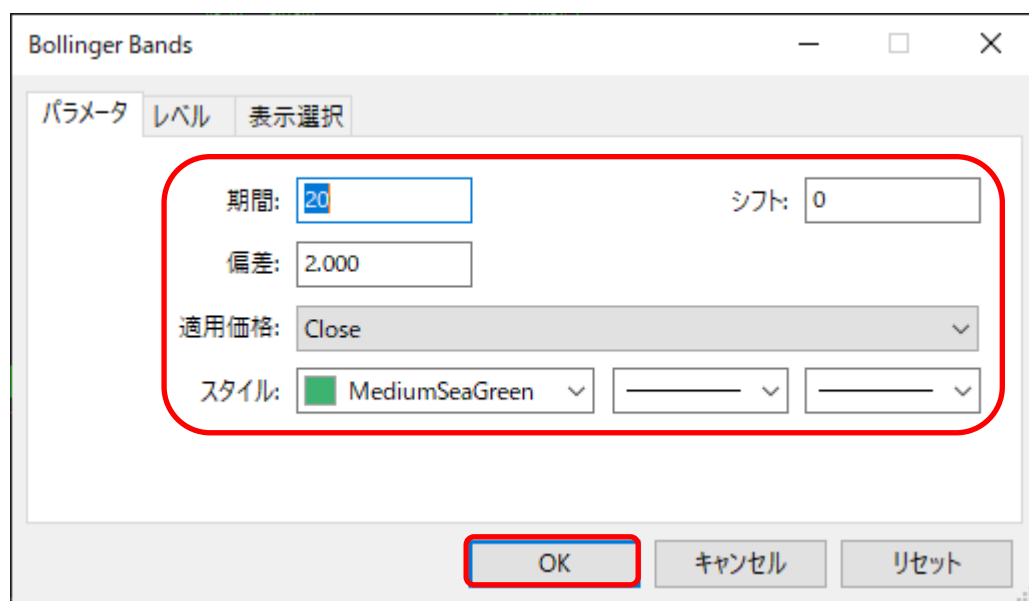
「共通」タブでは色や線種、太さ等を選択することができます。



「パラメータ」タブでは表示位置を日時・価格で設定できます。
また、ラインの延長(始点/終点を超えてラインを表示)等の設定ができます。

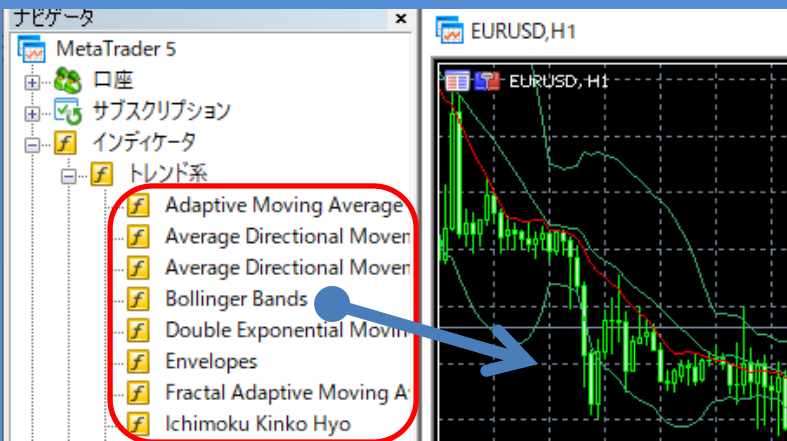


- ① **メニューバーから**
メニューバーの「挿入」→「インディケータ」→「表示したいインディケータ」をクリックします。
- ② **ナビゲータから**
ナビゲータウィンドウ内の「インディケータ」を「+」ボタンもしくはダブルクリックし、展開します。
「表示したいインディケータ」をダブルクリックまたは右クリックし、「チャートに追加」をクリックします。



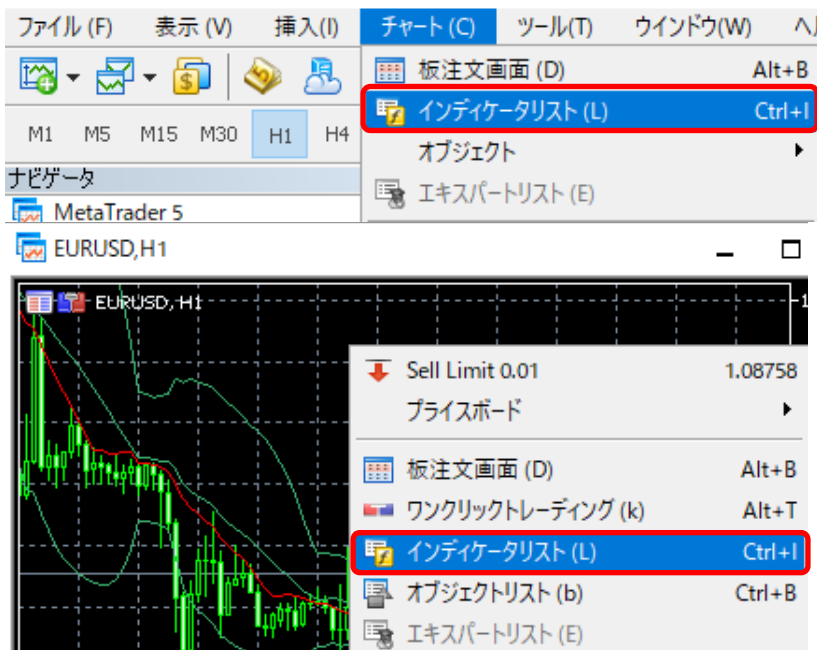
インディケータの設定画面が表示されますので、必要に応じ設定を変更して、「OK」ボタンをクリックします。

ヒント



ナビゲータからドラッグ & ドロップすることで表示することもできます。

1-5-1.インディケータの編集や削除



- ① メニューバーの「チャート」→「インディケータリスト」、またはチャートウインドウ内で右クリックし、「インディケータリスト」をクリックします。

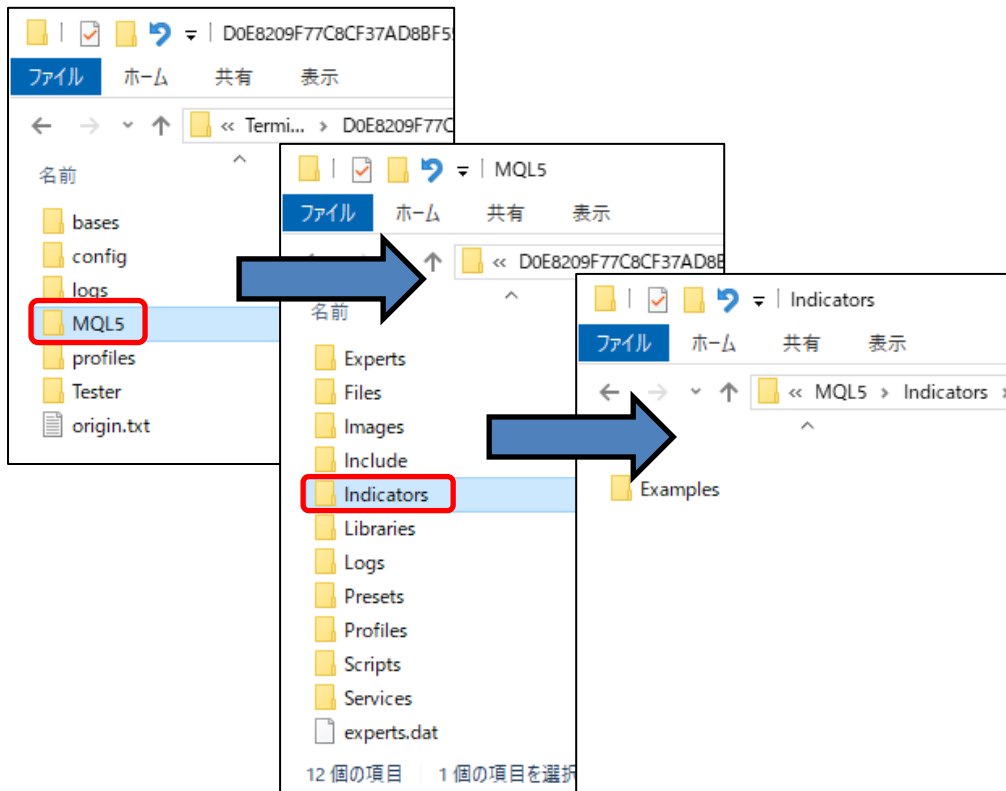


- ② 対象のインディケータを選択し、編集したい場合は「プロパティ」、削除したい場合は「削除」をクリックします。

1-5-2. 外部インディケータのインストール



① メニューバーの「ファイル」→「データフォルダを開く」をクリックします。



② 「MQL5」→「Indicators」を開きます。

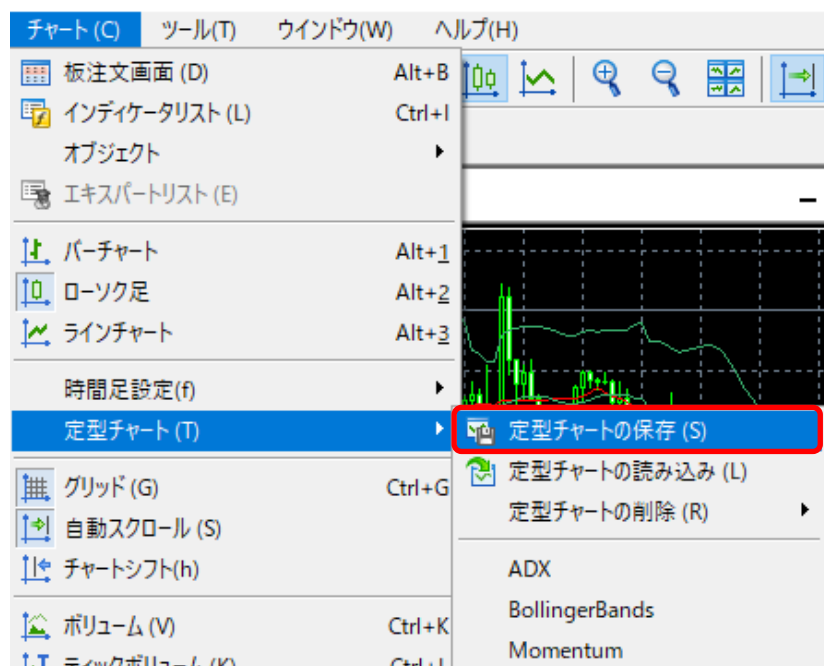
③ 「Indicators」フォルダ内にインディケータファイル(.ex5 ファイル)をコピーし、MT5 を再起動します。

1-6.チャートの保存

1-6-1.定型チャートの保存・読み込み

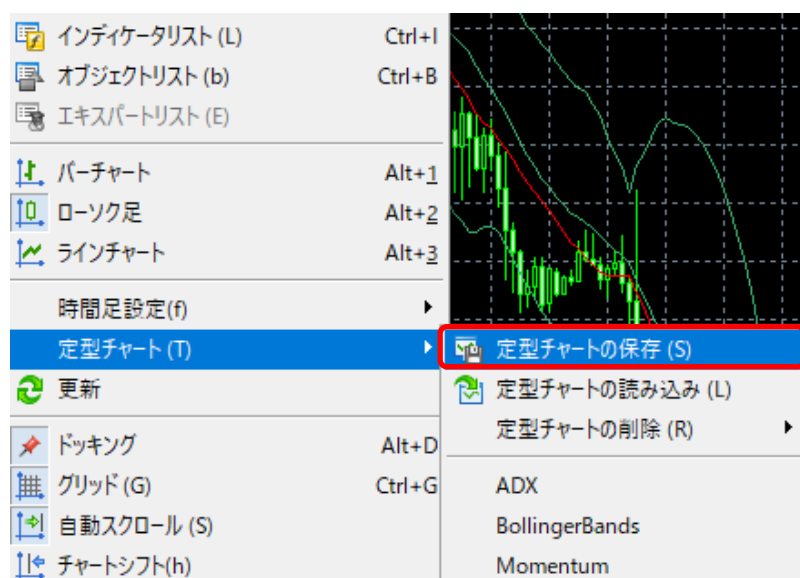
チャートの配色やライン、インディケータなどの設定を「定型チャート」として保存できます。
別のチャート上で保存した定型チャートを読み込むだけで簡単に設定を適用することができます。

① メニューバーから

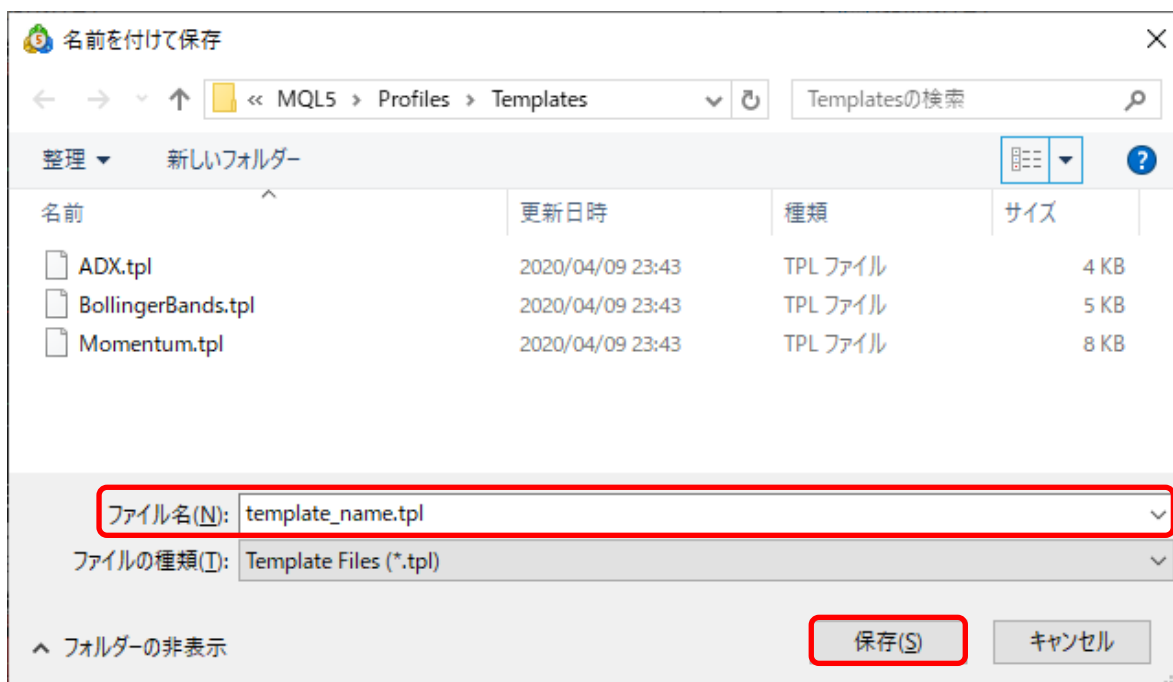


メニューバーの「チャート」→「定型チャート」→「定型チャートの保存」をクリックします。

② 右クリックメニューから



チャートウィンドウ内で右クリックし、「定型チャート」→「定型チャートの保存」をクリックします。



ファイル名を入力し、「保存」をクリックします。

別のチャートに定型チャートを適用させる場合は、リストから選択するか「定型チャートの読み込み」をクリックします。

1-6-2.チャートのプロファイル保存・読み込み

複数のチャートをグループ化し「プロファイル」として保存できます。

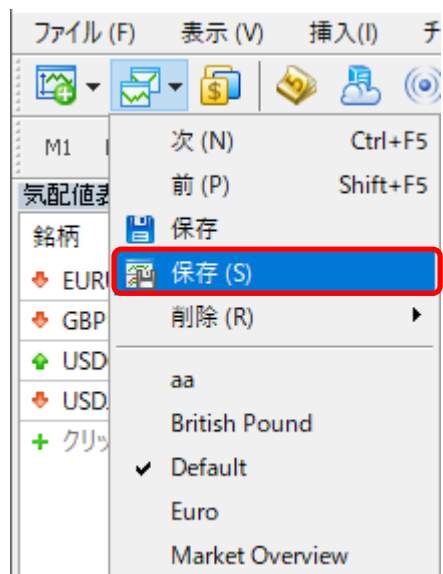
「複数の時間足(分足・時間足・日足等)を表示」、「複数の通貨ペアを表示」など取引状況に合わせて切り替えることができます。

① メニューバーから



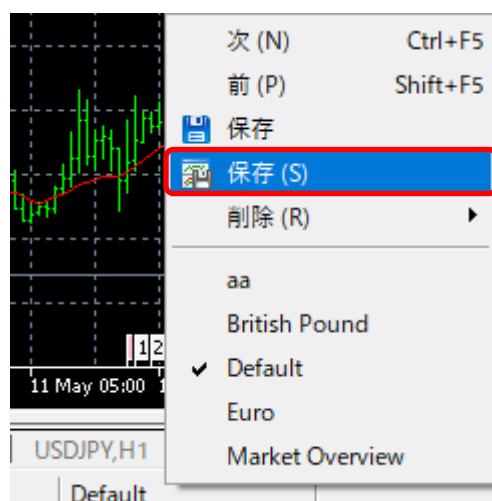
メニューバーの「ファイル」→「チャートのプロファイル」→「保存(S)」をクリックします。

② ツールバーから

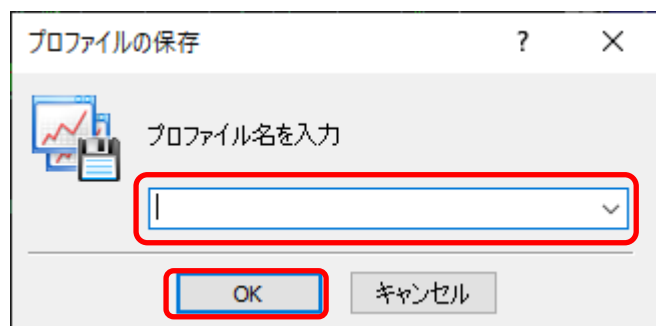


ツールバーの「プロファイルの設定」ボタン→「保存(S)」をクリックします。

③ ステータスバーから



ステータスバーの「現在のプロファイル」→「保存(S)」をクリックします。

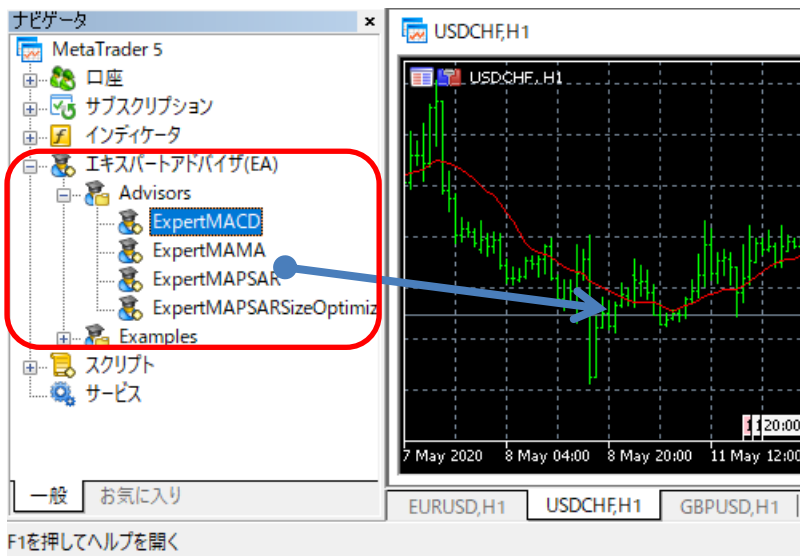


プロファイル名を入力し、「OK」をクリックします。

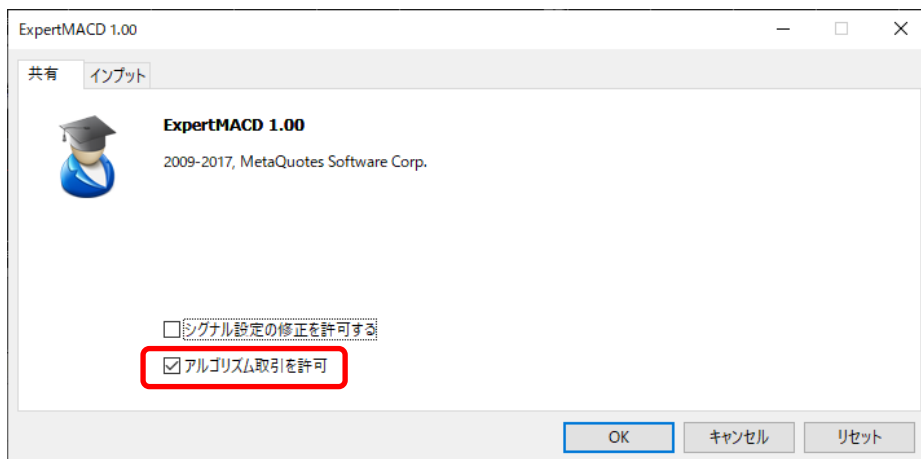
別のプロファイルを読み込む場合は、リストから選択します。

2.EA (エキスパートアドバイザー) {自動売買}

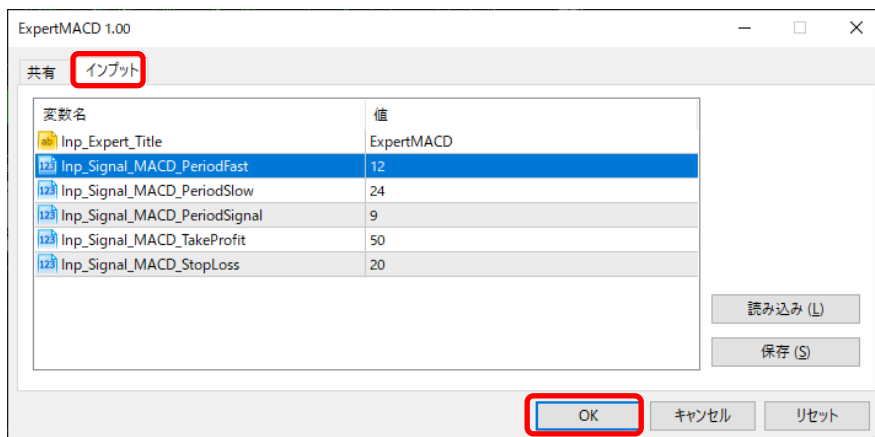
2-1.EA の実行



- ① ナビゲータウインドウ内の「エキスパートアドバイザー(EA)」を「+」ボタンもしくはダブルクリックし、展開します。「使用したい EA」をダブルクリックまたはチャートウインドウヘドラッグ & ドロップします。



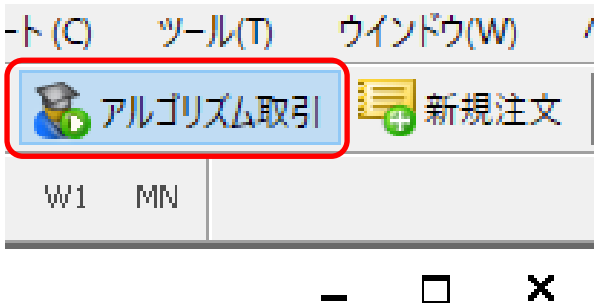
- ② EA 設定ウインドウの「共有」タブで「アルゴリズム取引を許可」にチェックを入れます。



- ③「インプット」タブで必要に応じてパラメーターを変更し、「OK」をクリックします。



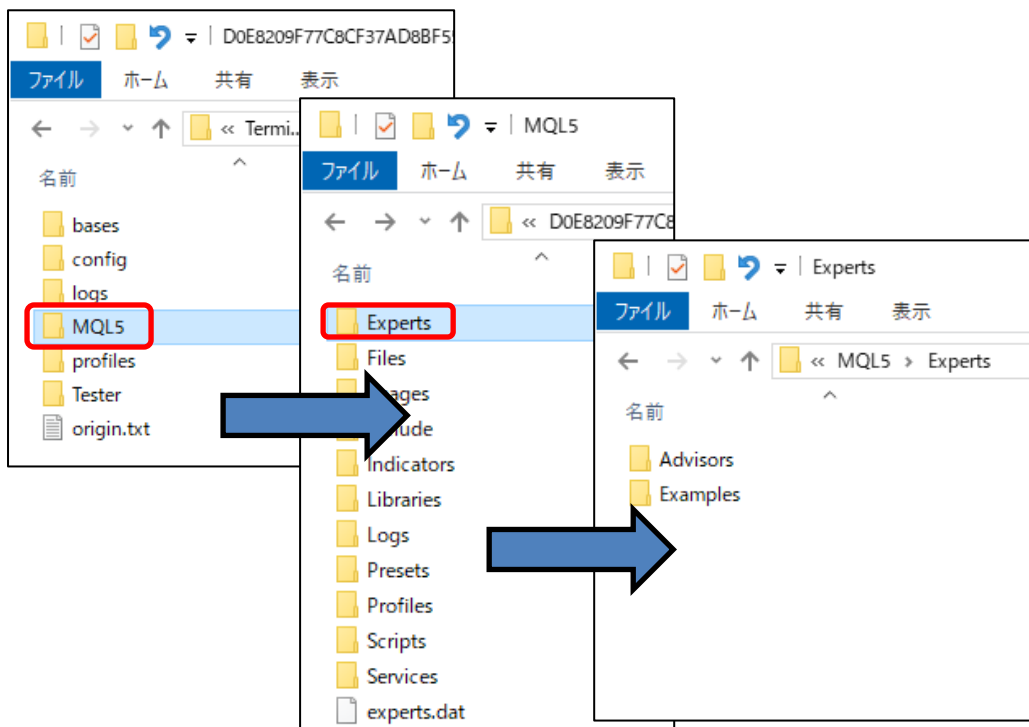
④ チャートウインドウ右上に EA のアイコンが表示されます。



⑤ ツールバーの「アルゴリズム取引」ボタンをクリックし、ON にします。
チャートウインドウ右上のアイコンが赤色から緑色に変わり EA が実行中になります。

2-2.外部 EA のインストール

① メニューバーから「ファイル」→「データフォルダを開く」をクリックします。
(1-5-2.外部インディケータのインストール参照)

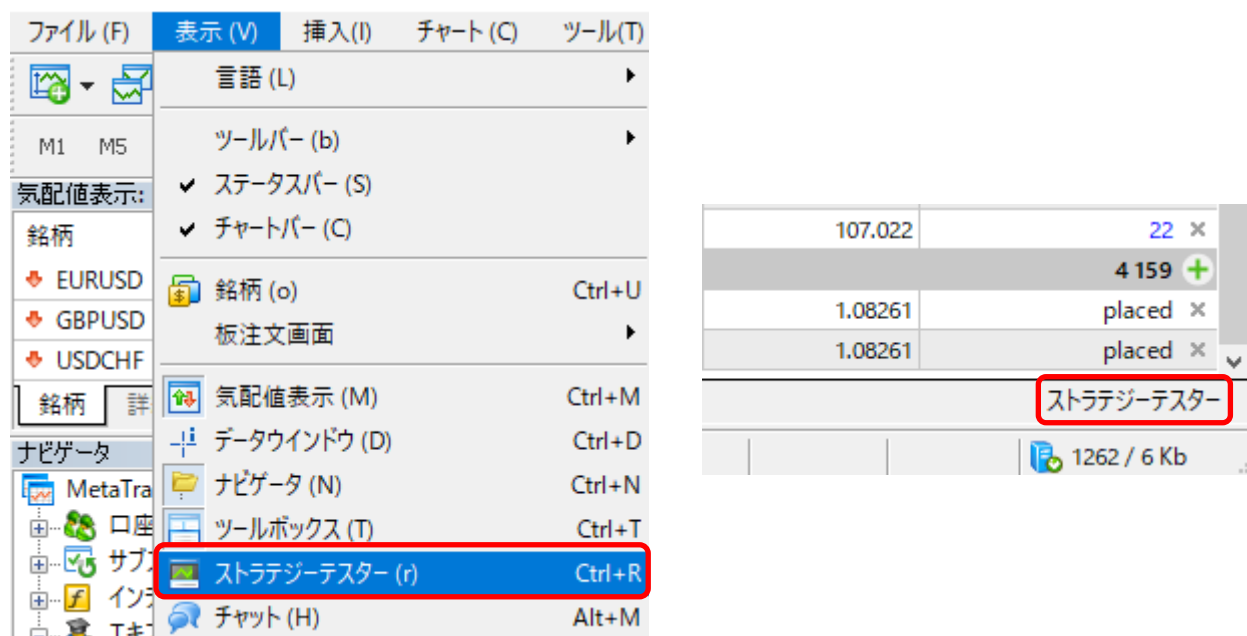


② 「MQL5」→「Experts」を開きます。

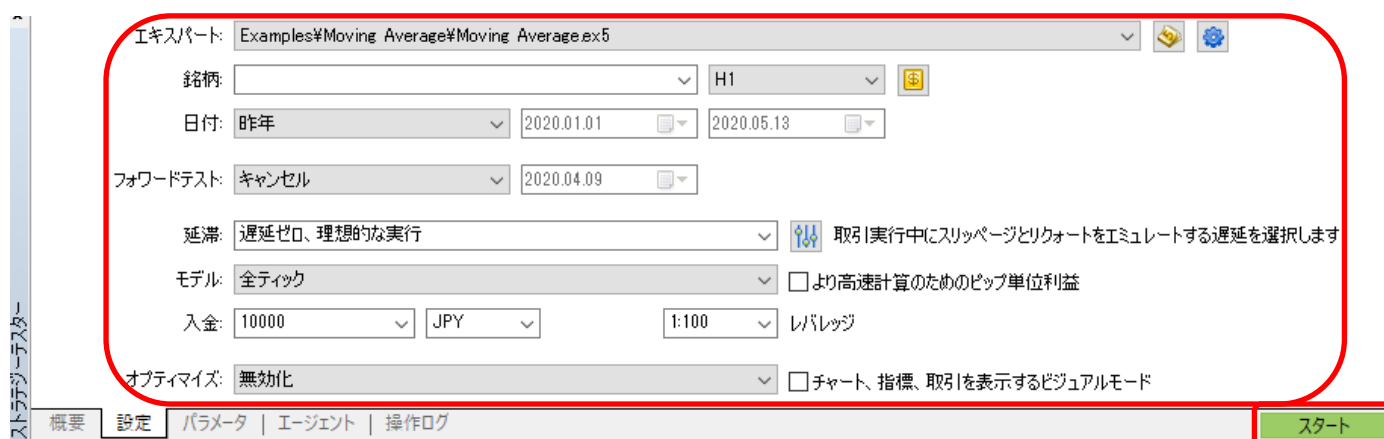
③ 「Experts」フォルダ内に EA ファイル(.ex5 ファイル)をコピーし、MT5 を再起動します。

2-3.バックテスト機能

EA やインディケータのバックテストを行うことができます。バックテストとは、過去レート(ヒストリカルデータ)上でのテストのことです。したがって、本機能を利用して最適化した EA の有効性を、将来にわたって保証することはできません。



- ① メニューバーの「表示」→「ストラテジーテスター」もしくは、ツールボックスウインドウ右下の「ストラテジーテスター」をクリックします。



- ② テストしたい EA を選択し、各種条件を設定して「スタート」をクリックします。

3.その他の機能

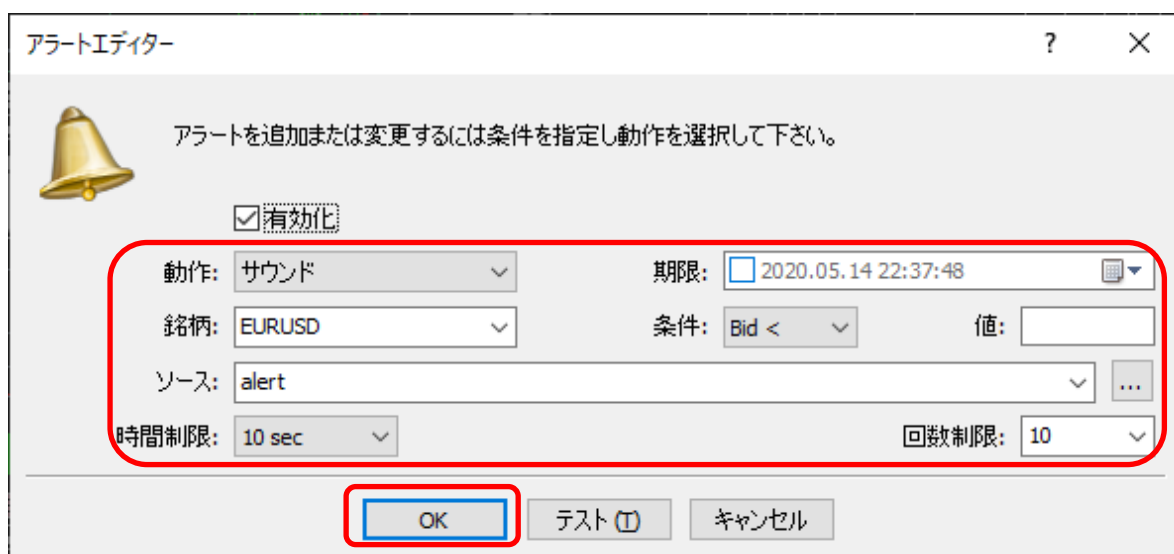
3-1.アラートの設定

指定した価格や時刻にアラートを発信することができます。

※MT5 が起動している必要があります。



① ツールボックスの「アラート」タブを開き、ウインドウ内を右クリックし、「新規」をクリックします。



② アラート条件や動作を設定し、「OK」をクリックします。

動作	サウンド・・・音による通知を行います。
	ファイル・・・指定したプログラムを起動します。
	メール・・・E-mail による通知を行います。
	通知・・・スマートフォンへのプッシュ通知を行います。 ※スマートフォンに MT5 アプリがインストールされている必要があります。

期限	アラートの有効期限を設定します。有効期限を設定しない場合はチェックを外します。
----	---

銘柄	対象の通貨ペアを選択します。
----	----------------

条件	Bid < …Bid 価格が指定した価格を下回った場合
	Bid > …Bid 価格が指定した価格を上回った場合
	Ask < …Ask 価格が指定した価格を下回った場合
	Ask > …Ask 価格が指定した価格を上回った場合
	Last < …直近価格が指定した価格を下回った場合
	Last > …直近価格が指定した価格を上回った場合
	Volume < …出来高が指定した数量を下回った場合
	Volume > …出来高が指定した数量を上回った場合
	Time = …指定した時刻になった場合

値	「条件」で指定する価格や時刻を入力します。 ※時刻はサーバーの時刻ではなくパソコンの時刻が適用となります。
---	--

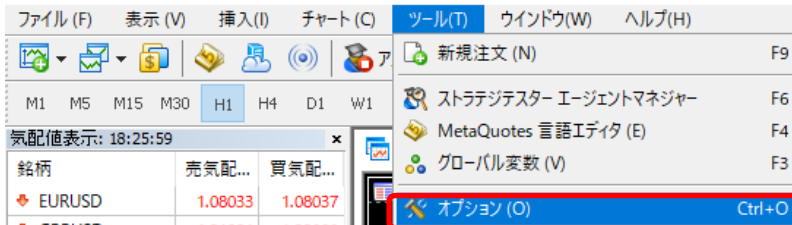
ソース	指定した「動作」で使用するアラーム音・プログラムファイル・メッセージ文を設定します。
-----	--

時間制限	アラームが作動する時間の間隔を設定できます。
------	------------------------

回数制限	アラームが繰り返し作動する最大回数を設定します。 設定した回数分アラームが作動し終わると、アラームが無効になります。
------	---

・E-mail による通知を行う場合

予めメール設定を行っておく必要があります。



① メニューバーの「ツール」→「オプション」をクリックします。



② 「Eメール」タブを開き、「メール設定を有効にする」にチェックを入れ、送信元メールの設定、宛先を入力し、「OK」をクリックします。

・スマートフォンへのプッシュ通知を行う場合

予めスマートフォンに MT5 アプリのインストール、通知設定を行っておく必要があります。

① MetaQuotesID の確認

《iPhone》



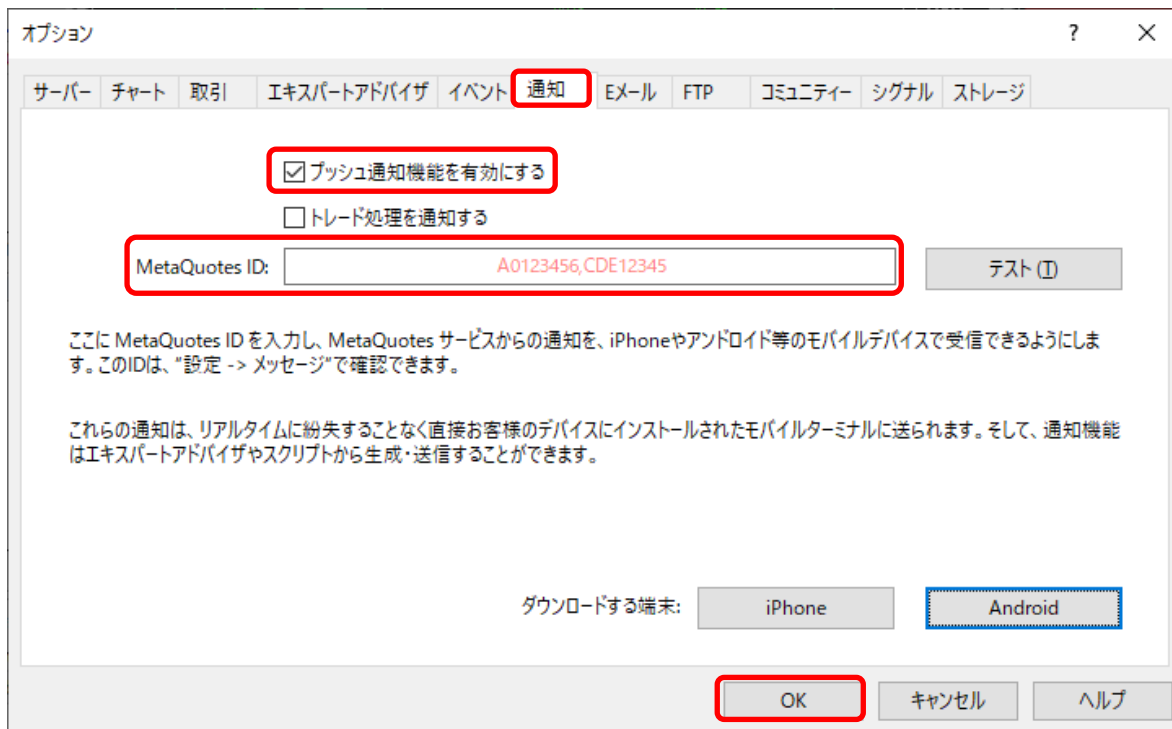
「設定」→「チャットとメッセージ」をタップし、画面下部の MetaQuotesID を確認します。

《Android》



「画面左上のアイコン」→「設定」をタップし、メッセージ項目内の MetaQuotesID を確認します。

② メニューバーの「ツール」→「オプション」をクリックします。



③ 「通知」タブを開き、「プッシュ通知機能を有効にする」にチェックを入れ、MetaQuotesID を入力し、「OK」をクリックします。

※「トレード処理を通知する」にチェックを入れると、注文・決済・指値変更等が行われた時にも通知が行われます。

3-2. プライスボードの表示

気配値表示: 17:47:07

EURUSD	17:47:07	GBPUSD	17:47:07
SELL 0.01 BUY	1.08 26 ⁹ 1.08 27 ³	SELL 0.01 BUY	1.21 23 ⁰ 1.21 24 ⁰
LOW Spread: 4 HIGH	1.07888 Swap: -1.00/-0.70 1.08507	LOW Spread: 10 HIGH	1.21196 Swap: -2.20/-0.20 1.22393
USDCHF	17:47:07	USDJPY	17:47:06
SELL 0.01 BUY	0.97 21 ⁷ 0.97 22 ³	SELL 0.01 BUY	107 27 ⁹ 107 28 ⁴
LOW Spread: 6 HIGH	0.96979 Swap: -1.00/0.10 0.97451	LOW Spread: 5 HIGH	106.854 Swap: -0.60/-0.10 107.436
CHFJPY	17:47:07		
SELL 0.01 BUY	110 34 ² 110 35 ⁵		
LOW Spread: 13 HIGH	109.827 Swap: -0.10/-0.50 110.422		

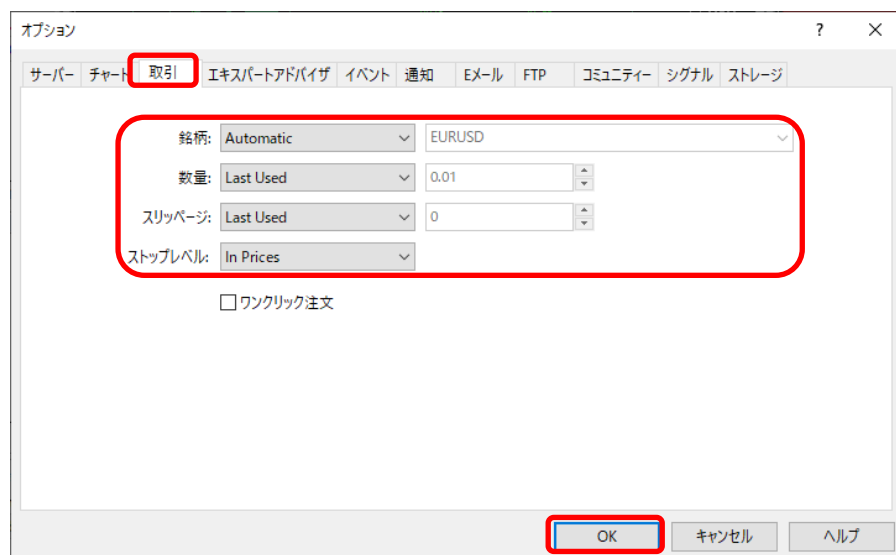
銘柄 | 詳細 | **プライスボード** | ティック

気配値表示ウインドウの「プライスボード」タブをクリックします。

3-3.既定値設定

注文画面を表示した際に、表示される通貨ペア、数量(ロット数)等の初期値を設定できます。

- ① メニューバーの「ツール」→「オプション」をクリックします。



- ② 「取引」タブを開き、設定したい項目を入力し、「OK」をクリックします。

銘柄	Automatic …自動的に銘柄を表示します。	
	Last Used …直前に利用した銘柄を表示します。	
	By Default …選択した銘柄を常に表示します。	通貨ペアを選択します。

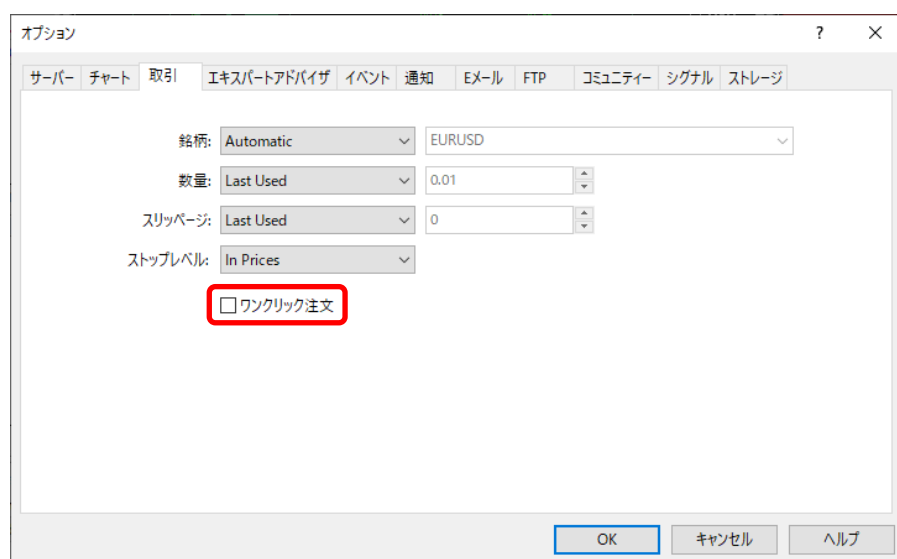
数量	Last Used …直前に利用した数量を表示します。	
	By Default …選択した数量を常に表示します。	数量を入力します。

スリッページ	使用できません。
--------	----------

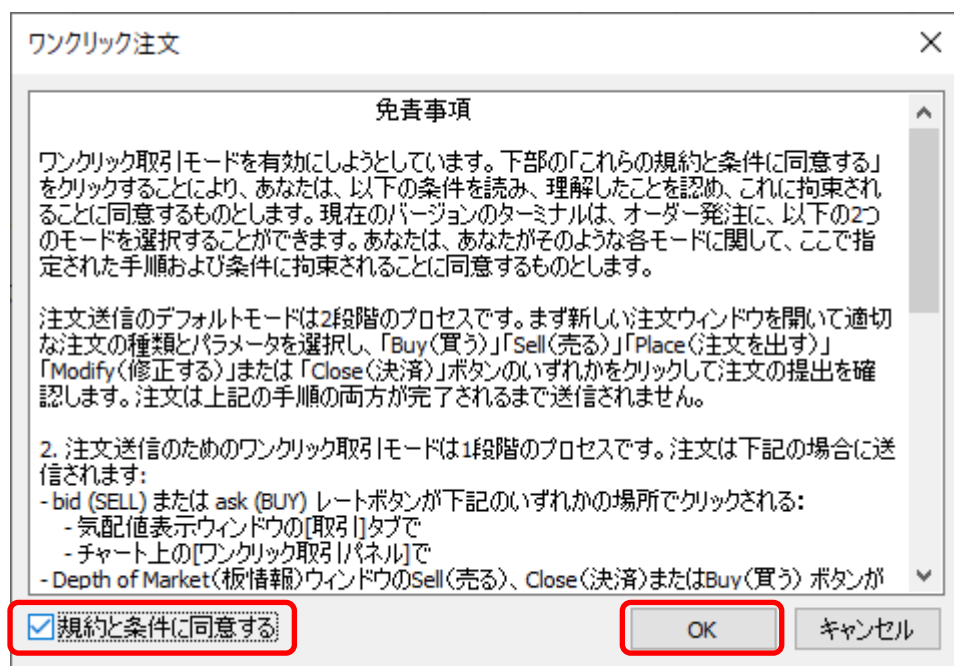
ストップレベル	In Prices …決済指値の入力単位を価格にします。
	In Points …決済指値の入力単位をポイントにします。

3-4. ワンクリック注文

- ① メニューバーの「ツール」→「オプション」をクリックします。



- ② 「ワンクリック注文」にチェックを入れます。

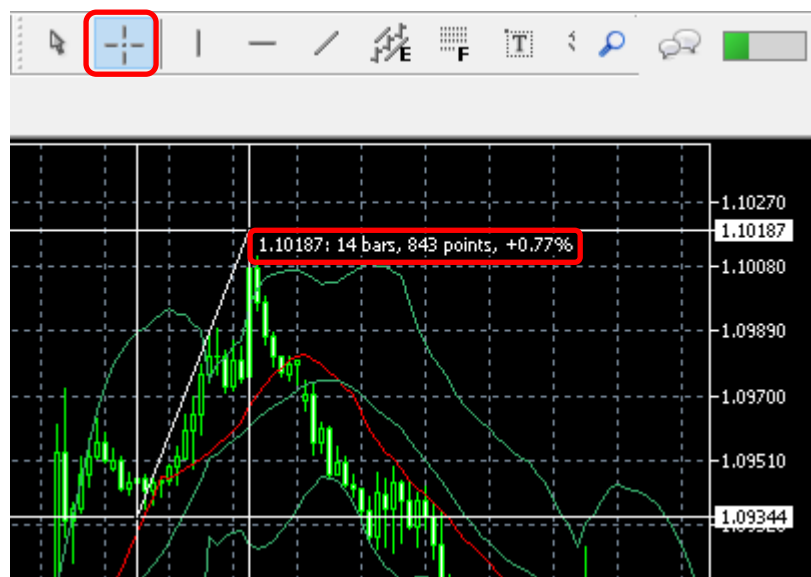


- ③ 「規約と条件に同意する」にチェックを入れ、「OK」をクリックします。

- ④ オプション画面に戻りますので、「OK」をクリックします。

3-5.期間と値幅の計測

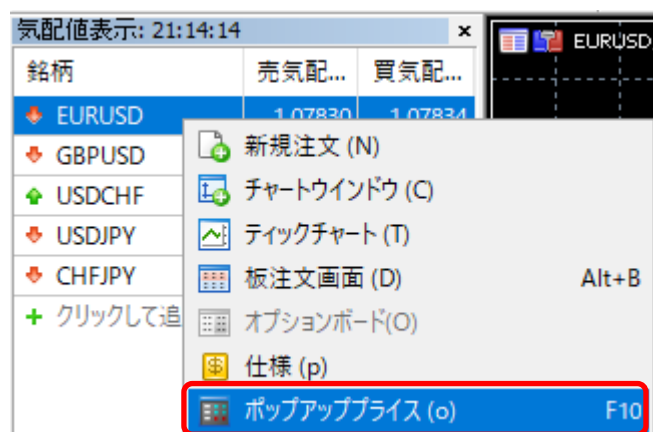
クロスヘア(十字カーソル)利用時に、始点から終点へドラッグすると期間と値幅の計測ができます。



- ① ツールバーの「クロスヘア」ボタンをクリックします。
- ② 始点でクリックし、終点までドラッグします。
終点の価格、足の本数、変動幅、変動率が表示されます。

3-6.ポップアッププライス

独立した別ウィンドウで価格表示ができます。このウィンドウのみを前面に表示することで、他の作業をしながら価格のチェックができます。



- ① 気配値表示ウィンドウ内で右クリックし、「ポップアッププライス」をクリックします。



② ポップアッププライスウインドウ内を右クリックして、表示項目や色の変更等ができます。

3-7.高速ナビゲーションバー

通貨ペアや日付、時間足等を入力して、素早く目的のチャートを表示できます。



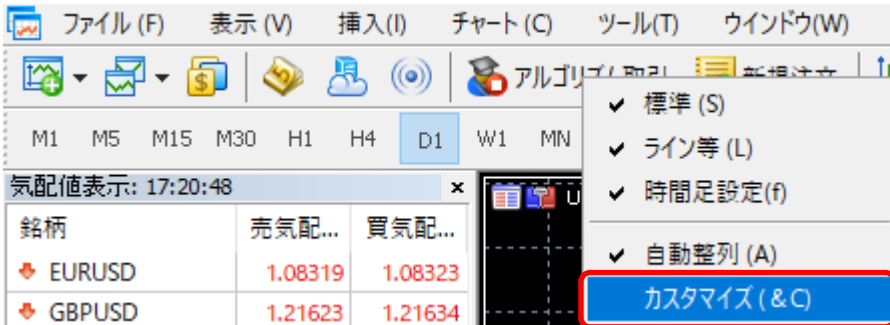
① チャートウインドウ右下にマウスを移動し、ポインタが図のように変わったらダブルクリックします。

② コマンドを入力します。

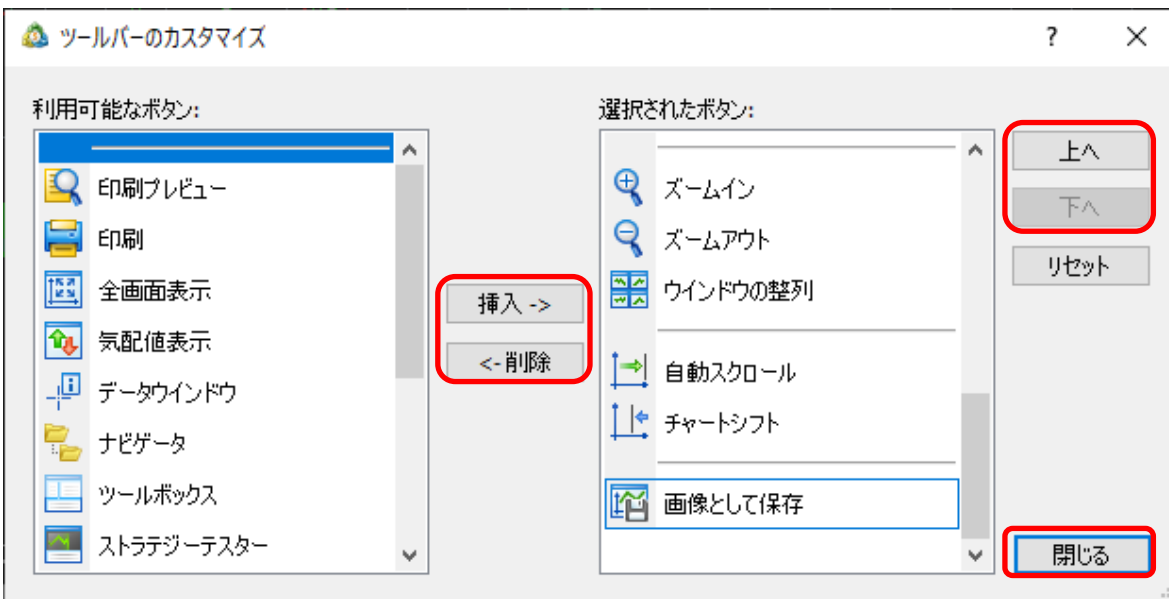
項目	コマンド例
銘柄	usdjpy,eurusd 等
時間足	1,5,15,30,60 等または m1,m15,m30,h1,h4,d,w,mn 等
日にち	yyyy.mm.dd
日時	yyyy.mm.dd hh:mm
銘柄+時間足	usdjpy 60,eurusd d 等

3-8. ツールバーのカスタマイズ

ツールバーに表示するアイコンを頻繁に利用する機能に応じてカスタマイズできます。



① ツールバー上で右クリックし、「カスタマイズ」をクリックします。



② アイコンの挿入や削除、並べ替えを行い、「閉じる」をクリックします。

3-9. ショートカットキー一覧

共通のショートカットキー

ショートカットキー	説明
Esc	ダイアログウインドウを閉じます。
F1	「ユーザーガイド」を開きます。
F3	「グローバル変数」ウインドウを開きます。
F4	MetaEditor を起動します。
F6	「ストラテジーテスターエージェント」ウインドウを開きます。
F9	「新規注文」ウインドウを開きます。
F10	「ポップアッププライス」ウインドウを開きます。
F11	全画面モードを有効/無効化します。
Alt+A	すべての EA テストまたは最適化結果をクリップボードにコピーします。

Alt+F4	プラットフォームを終了します。
Ctrl+C または Ctrl+Insert	クリップボードにコピーします。
Ctrl+D	「データ」ウインドウを開閉します。
Ctrl+E	エキスパートアドバイザの使用を許可/禁止します。
Ctrl+M	「板情報」ウインドウを開閉します。
Ctrl+N	「ナビゲータ」ウインドウを開閉します。
Ctrl+O	「設定」ウインドウを開きます。
Ctrl+R	「ストラテジーテスター」ウインドウを開閉します。
Ctrl+T	「ツールボックス」ウインドウを開閉します。

チャートウインドウのショートカットキー

ショートカットキー	説明
←	チャートを左にスクロールします。
→	チャートを右にスクロールします。
↑	チャートを素早く左にスクロールします。固定スケールの場合はチャートを上にスクロールします。
↓	チャートを素早く右にスクロールします。固定スケールの場合はチャートを下にスクロールします。
テンキー5	変更後の自動チャートの垂直スケールを復元します。スケールが定義されている場合、このショートカットキーはチャートを可視範囲に戻します。
Page Up	チャートを素早く左にスクロールします。
Page Down	チャートを素早く右にスクロールします。
Home	チャートを開始点に移動します。
End	チャートを終了点に移動します。
-	チャートをズームアウトします。
+	チャートにズームインします。
Delete	選択されたグラフィックオブジェクトをすべて削除します。
Backspace	チャートに追加された最新のオブジェクトを削除します。
Enter	高速ナビゲーションバーを開閉します。
F2	MQL5.community の MQL5 コードベースをダウンロードのために開きます。
F7	チャートウインドウに取り付けられている EA のプロパティウインドウを設定変更のために呼び出します。
F8	チャート設定ウインドウを呼び出します。
F12	チャートを 1 バー分だけ左に移動します。
Shift+F12	チャートを 1 バー分だけ右に移動します。
Shift+F5	1 つ前のプロファイルに切り替えます。
Alt+1	チャートを一連のバーとして表示します。
Alt+2	チャートを一連のローソク足として表示します。
Alt+3	チャートをラインとして表示します。
Alt+W	チャート管理画面を呼び出して開けます。
Alt+Backspace または Ctrl+Z	オブジェクト削除を取り消します。
Ctrl+A	すべての指標ウインドウのデフォルトの高さを調整します。

Ctrl+B	「オブジェクトリスト」ウインドウを呼び出します。
Ctrl+F	「クロスヘア(十字カーソル)」を有効にします。
Ctrl+G	グリッドを表示します/非表示にします。
Ctrl+H	OHLC 線を表示します/非表示にします。
Ctrl+I	「インディケータリスト」ウインドウを呼び出します。
Ctrl+K	ボリュームを表示します/非表示にします。
Ctrl+L	ティックボリュームを表示します/非表示にします。
Ctrl+P	チャートを印刷します。
Ctrl+S	チャートを“CSV”、“PRN”、“HTM”ファイルとして保存します。
Ctrl+W または Ctrl+F4	現在のチャートウインドウを閉じます。
Ctrl+Y	期間区切りを表示します/非表示にします。
Ctrl+F5	次のプロファイルに切り替えます。
Ctrl+F6	前のチャートウインドウをアクティブにします。
Ctrl+Shift+F6	次のチャートウインドウをアクティブにします。

ナビゲータウインドウのショートカットキー

ショートカットキー	説明
Enter	選択された口座、エキスパートアドバイザ、インディケータ、スクリプトを実行します。
Insert	「口座」項目を選択中に新しい口座を開きます。
Delete	選択された口座、エキスパートアドバイザ、インディケータ、スクリプトを削除します。
G	「お気に入り」タブのグリッドを表示します/非表示にします。

データウインドウのショートカットキー

ショートカットキー	説明
Ctrl+C	他のアプリケーションで使用するために情報をクリップボードにコピーします。
A	列の自動サイズ設定を有効/無効にします。
G	グリッドを表示します/非表示にします。

ツールボックスウインドウのショートカットキー

ショートカットキー	説明
F9	「新規注文」ウインドウを開きます。
Enter	選択されたニュース、メール、記事等を表示するまたは選択されたアラートを変更します。
Insert	新しいメールまたはアラートを作成します。
Delete	メールまたはアラートを削除します。
Space	メールのツリーを展開するまたはアラートを有効/無効化します。
C	選択されたエキスパートの行をクリップボードにコピーします。
D	ライブラリタブで選択されたエキスパートアドバイザやインディケータをダウンロードします。
R	ニュースカテゴリーの列を表示します/非表示にします。
A	列の自動サイズ設定を有効/無効にします。
G	グリッドを表示します/非表示にします。